

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

＜教育利用＞ ③各教科等における学びにおいて積極的に用いる段階：作文の推敲

教科：国語（中2） 生成AI：みんなで生成AIコース（ChatGPT） 使用者：生徒

単元名：論理的に考える「100年後の水を守る（橋本 淳司）」

単元目標

- ・ 文章と図表などを結び付けて、筆者の考えを捉える。
- ・ 文章を読んで理解したことと、知識や経験を結びつけて自分の考えを広げる。

生成AIの活用場面

「『水問題』の課題について、学校できることを考え、まとめる。」という活動において、作文の推敲の場面で生成AIを活用した。

成果と課題

【成果】生成AIを用いた推敲を通して、文章の構成や表現技法、語彙の選択などを効率的に学ぶことができた。また、生成AIの活用により、短時間で推敲を進められ、スピード感をもって学びを深めることができた。

【課題】生成AIから提案された表現の中には、自分の考えにじっくりこない言い回しや理解しにくい語句が含まれることがあった。生成AIの提案をそのまま使うのではなく、自分の意図に合うかどうかを判断する力を養う必要がある。

自分で作成した文章

水問題でできることは、食器を使わないで食事することだ。それによって食器を洗う水がいらぬ。また、食器をつくる作業で水がいらぬと思うから。

※取組を赤でやった場合

生成AIが推敲した文章

水問題への取り組みの一環として、食器使用を削減し、マイ食器や使い捨て食器の利用を検討することを提案します。

Gemini

まとめ



← 生成AIを使って推敲する際は、「比較」することを強調した。自分の文章と生成AIが示した案を並べてその違いを確認し、生徒自身が納得するまでやり取りを繰り返した。

【プロンプト】

#役割

あなたはプロの国語教師です。

#指示

下記の文章を推敲してください。

- [] 敬体の文章で
- [] 取組と理由に分ける
- [] それぞれ100字程度
- [] 簡潔な文章にする

↓ 生徒に示した推敲のポイント

100年後の水を守る：ドキュメント（生成AI使用時のプロンプトと比較の注意点）

①生成AIコースに入室

②教室コード入力

③プロンプトを入力。プロンプトをコピーして、生成AIに貼り付ける。

#役割

あなたはプロの国語教師です。

#指示

下記の文章を推敲してください。

- [] 敬体の文章で
- [] 取組と理由に分ける
- [] それぞれ100字程度
- [] 簡潔な文章にする

④改行して自分で作成した文章を貼り付ける

⑤作成された文章と、自分で作成した文章をスライドに並べて貼り比較する。

※生成AIからの文章が短い等あれば、プロンプトを考え追加して構いません。

⑥比較の視点は、プロンプトを参考にする。

⑦違いを色分けをするなど、見やすく分かりやすく比較を行うこと。